

団体・活動紹介

函写楽クラブ

北川 實

当クラブは、函南で写真を楽しむ仲間が集うことから「函写楽(かんしゃらく)クラブ」と命名し、1991年1月に発足し、今年で27年目を迎え、益々活発に活動しています。現在会員は、ベテランから初心者まで17人で、写真を楽しむと共に写真技術の向上に日々励んでいます。

定期的な活動は、毎月第2土曜日に定例会を開催し、近々の撮影情報やフォトコンテスト情報を交換しています。

また、会員それぞれが撮影した写真を持ち寄り、互いに評価し写真技術の向上に役立っています。初心者には、写真の基礎から丁寧な指導を行っています。

作品発表の場としては、「函南町文化祭」への参加や、「かなみ仏の里美術館」「湯ノトピアかなみ」での写真展にそれぞれの自信作を出し、多くの方々に見ていただき自らの励みにしています。

撮影会は、季節ごとの名所や祭りなど各種イベントへ、会員相互に連れ立ち出かけています。

函写楽クラブでは、随時新しい会員を募集しています。季節の移ろいを肌で感じながら「一瞬の光景を切りとる」今も昔も変わらない写真の醍醐味を私たちと一緒に味わいませんか。

問合せ/北川 實 (090-7431-4093)

お知らせ

伊豆の食材が盛りだくさん



伊豆地域の食の即売会 IZU 食彩トレイドフェア

問合せ/函南町商工会 (978-3995)

各ブースで商品展示PR、試食試飲や直売を行います。また来場者の皆さんの得票数で伊豆の逸品を決定する「おいしいIZUグランプリ」も開催します。入場無料、役場からのシャトルバスをご利用ください。

○日時
9月9日(土) 9時30分～14時

○場所
函南町文化センター

○内容
食品、食材加工品の販売(数量限定)

○出展者
伊豆地区の農水産業、食品取扱事業者、団体など(約60事業所)

お知らせ

家庭での教育方法を学ぶ



心の状態、教育について学ぶ 「子育て講演会」

問合せ/生涯学習課 (979-1733)

家庭での教育方法や親子関係について悩んでいませんか。子どもの心の状態や教育の在り方についての講演会です。参加無料、託児もあります。

○日時
10月24日(火) 9時45分～11時15分
(受付: 9時15分)

○場所
函南町文化センター 大ホール

○講師
浦島浩司(シンガーソングライター)

○申込み
託児利用希望者は9月21日(木)までにチラシの申込書に記入のうえ、生涯学習課へお申し込みください。託児利用希望者以外はそれ以降も受け付けます。チラシは公共施設などに用意してあります。

募集

楽しく料理を作りましょう



料理の基本を学ぶ 男性の料理教室

申込み・問合せ/下の申込み・問合せ先でご確認ください

○日時
9月2日(土) 9時30分～13時

○場所
函南町保健福祉センター 調理室・多目的研修室

○対象
町内在住・在勤の男性(料理経験の少ない人)

○内容
調理実習、食生活や健康づくりに関する講義

○募集人数・参加費
15人、500円(食材費、テキスト代)

○持ち物
エプロン、ふきん、三角巾かバンダナ

○申込み・問合せ
9月1日(金)までにFAXかメールで函南町食生活改善推進協議会: 加藤明美(FAX: 978-2184、メール: akemi-k.0827@c.vodafone.ne.jp)へお申し込みください。

お知らせ

一緒に交流を深めましょう



みんなでふれあい 明日へつなぐ 函南町ふれあい交流会

問合せ/福祉課 (979-8127)

地域の皆さんと障害者(児)が一堂に会し、発表や展示などを通して交流を深め、障害について理解の輪を広げていくイベントです。参加無料、ご自由にご参加ください。

○日時
9月24日(日) 13時～15時

○場所
かなみ知恵の和館 1階多目的室、中庭など

○内容
発表、作品展示、参加型イベント、授産品の販売など

文芸散歩

私から見たお盆

水口 博文

お盆には先祖が家に帰ってくるという。子どもの頃は、よそ行きに着替えさせられて、お墓参りに行ったものだ。

そして、顔も知らない先祖に手を合わせた。大人になると、知っている先祖も増えてきた。私の面倒をよく見てくれた曾祖母、陽気な祖父やくちうるさい祖母、そして3年前に逝った父親。

地元で葬儀屋を25年もやっている、菩提寺なら墓石でそれぞれの故人の顔が思い浮かぶようになってきた。

墓地は、お盆になると目には見えないが亡くなった人たちが集まって、空から地上をのぞいて「お、みんなで来たな」。などと言っているのかもしれない。

今では、散骨や合祀など、墓石を作らない人たちも増えてきた。中には直葬などと葬儀を省略する傾向も多々ある。

また、「千の風」の歌のように、風になってしまった人もいるかもしれない。

迎え火を頼りに、先祖が集まるという日本のお盆という風習を、私は後世に伝えていきたいと思っている。